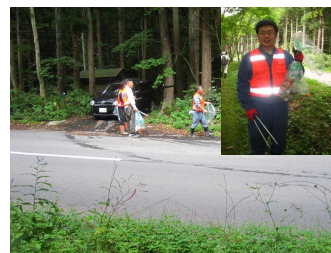


## －第2回鳶川魚類の移動経路の維持活動（魚道点検調査）－

令和7年9月9日に、69名の参加の下、鳶川清掃活動及び魚類の移動経路の維持活動（協賛：青森県砂防ボランティア協会）が行われました。

鳶川清掃活動は、今回で19回であり、本格的な秋の観光シーズンを前に鳶川沿川のゴミ拾いを行ってきました。

また、清掃活動をしながら、15名が鳶川に生息するイワナの生息環境保全を目的に、「魚類が遡上・降下することが困難な状況の迅速な把握と速やかな復旧」できるよう、整備された魚道6箇所の点検を昨年に引き続き実施しました。

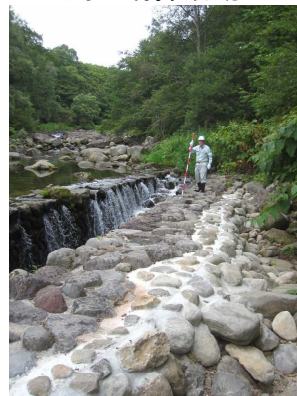


鳶川清掃活動

### 【第2回魚類の移動経路の維持活動（魚道点検調査）】

昨年の第1回魚道点検調査では、点検者全員が、約1.1km内に分散してある6力所の床固工・帯工の魚道を、左岸からの目視での点検を行ったが、破損や変状等の把握が十分でなく、また、時間が不足でした。

その反省を踏まえて、今回は、3班（2力所／班）に分け、鳶川魚道点検調査を、目視だけでなく河道内に入り、直接、施設の点検を行いました。その結果、破損等の状況を現地確認でき、また、時間内にスムーズな点検を行うことができました。



床固12号空洞補修完了

主な点検結果としては、**床固8号**本体の石材欠落や中州での土砂堆積を、**床固12号**において昨年分かった左岸部の空洞の補修の完了を、また、**帯工14号**本体の自然石張り工の剥離などを確認しました。

更に、**大倉沢落差工**の魚道部に土砂堆積による閉塞が確認され、魚類の遡上・降下に支障となることから、上北県土整備事務所に報告、9月30日に土砂の撤去がなされました。

○今後も、流木・土砂堆積・洗掘の有無や自然石張り工の剥離等の施設状況を、県と共有・連携し、必要な措置を行うこととしてます。



帯工14号の自然石張り工剥離

○詳細な点検結果と対応については、「**詳細報告 イワナの生息する環境の保全活動**」の「**鳶川魚類の移動経路の維持活動（魚類点検調査）点検結果と対応について**」をご覧ください。

○平成18年から取り組んだ自然産卵床作りから魚道点検調査に至った今までの経緯については、「**参考資料 イワナが生息する環境の保全活動**」をご覧ください。

### 【参考資料 項目】

#### ◎参考1 イワナの人工産卵床づくりの活動から イワナの生息環境の保全へ（案）（令和5年9月2日付け）

- ・本文
- ・参考資料1 調査地点・点検項目・産卵床の経年確認状況
- ・参考資料2 水木氏「人工産卵床づくりを検討し始めた頃の鳶川の状況」
- ・着工前・完成写真
- ・平成28年度 起委第6891号 鳶川砂防整備環境調査業務委託 概要版

#### ◎参考2 「あおもりの川を愛する会 ホームページ」

【<https://wanokawa.sakura.ne.jp/html/wanokawa/iwanaBook-1-1.pdf>】

- ・教本 川にすむ魚たち一魚にもっと自由をー ご活用ください
- ・経過報告（1） H18－H20 自然産卵自然繁殖川作り
- ・経過報告（2） H21－H22 自然産卵自然繁殖川作り
- ・経過報告（3） H18－H28 自然産卵自然繁殖川作り

#### ◎参考3 2024年9月5日（木） 日刊建設青森 掲載記事

# 蔦川 イワナの生息環境の保全へ ～魚類の移動経路の維持活動～

## 調査地点



図1 (1) 調査対象魚道部の状況 床固8号魚道  
(図2 (2) 参照)





図 1 (2) 調査対象魚道部の状況 床固 1 2 号魚道  
(図 2 (3) 参照)



図1（3） 調査対象魚道部の状況 帯工6号魚道  
（図2（2）参照）





図 1 (4) 調査対象魚道部の状況 帯工 1 4 号魚道  
(図 2 (4) 参照)



図1（5） 調査対象魚道部の状況 床固6号魚道  
（図2（3）参照）





図1（6） 調査対象魚道部の状況 大倉沢落差工  
（図2（4）参照）

# 産卵床の経年確認状況

(平成22年度～平成28年度)

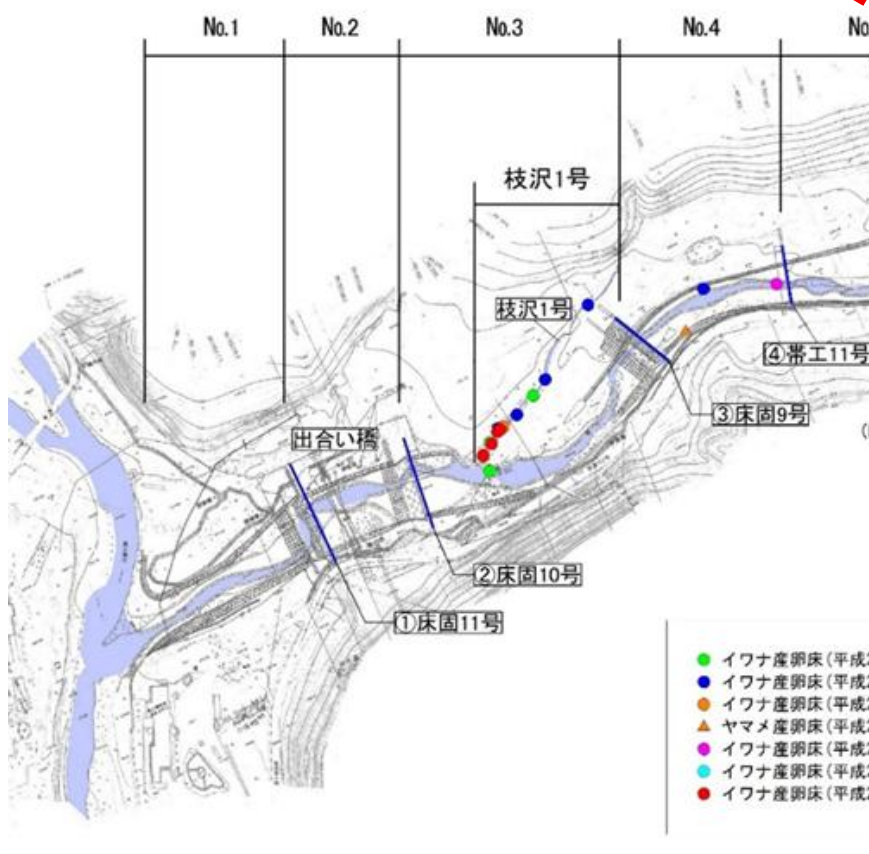
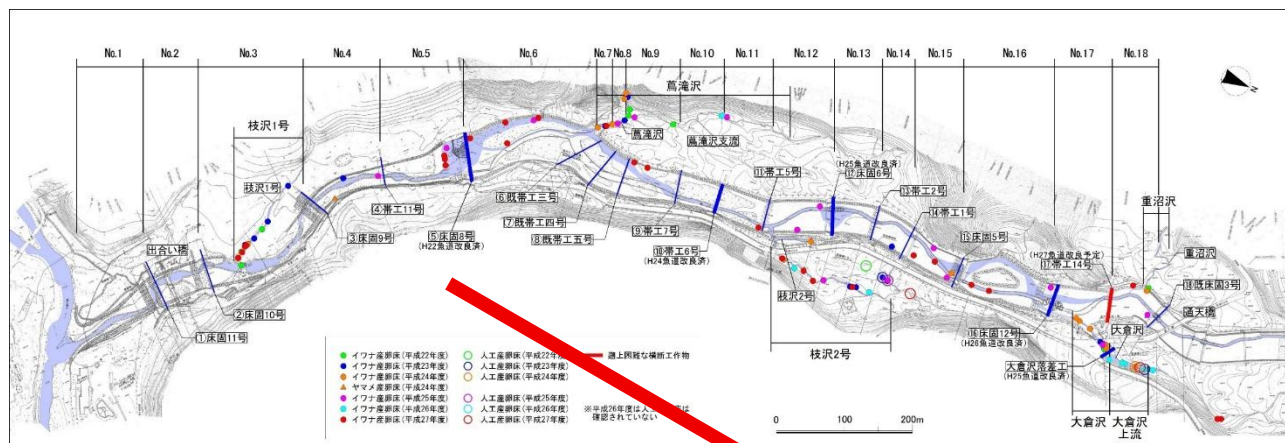


図2 (1) 産卵床の経年確認状況



# 産卵床の経年確認状況

(平成22年度～平成28年度)

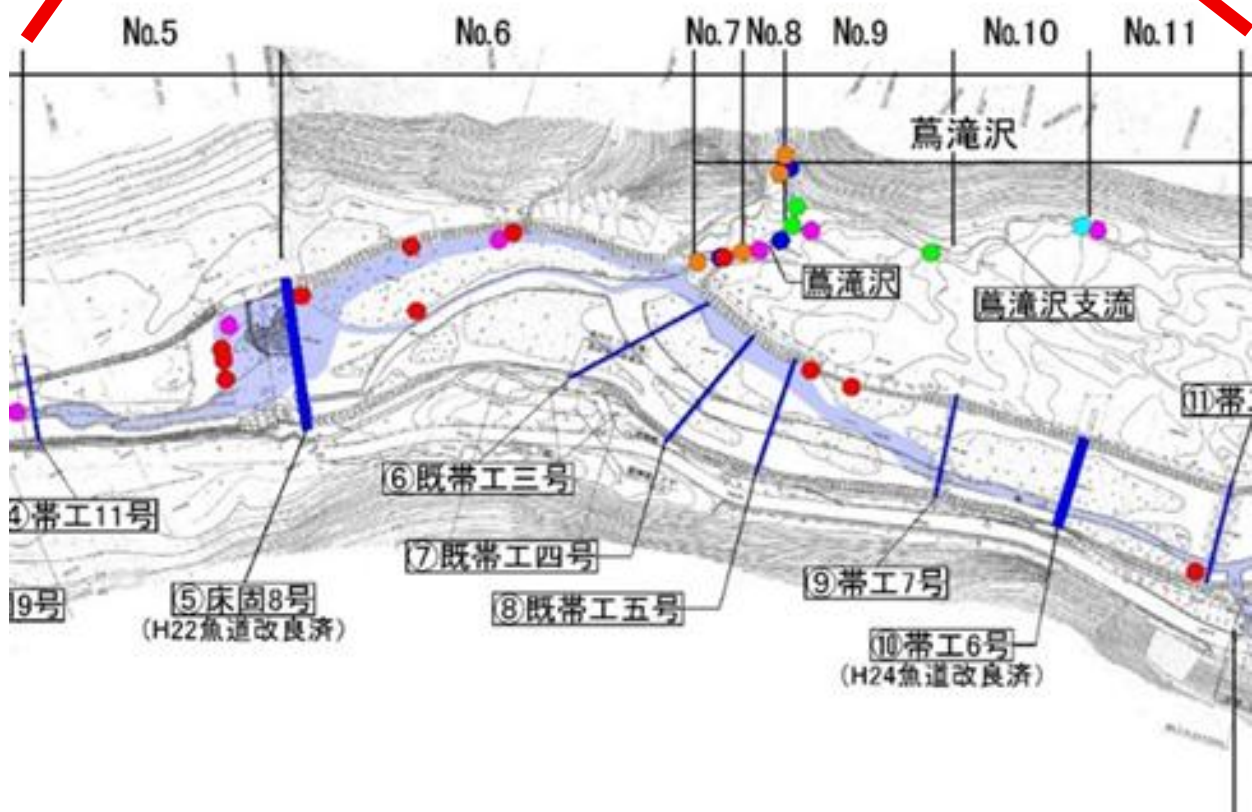
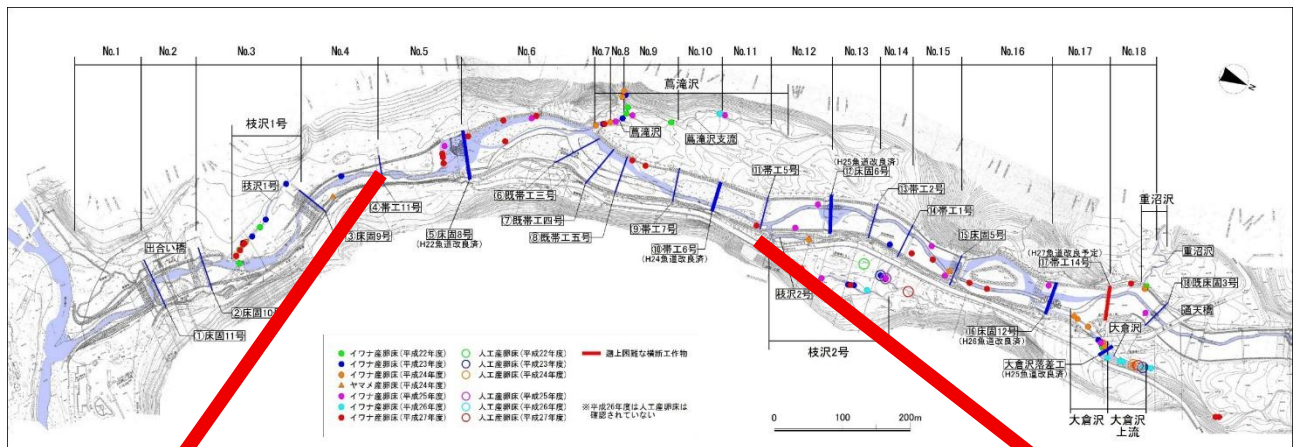


図2(2) 産卵床の経年確認状況

# 産卵床の経年確認状況

(平成22年度～平成28年度)

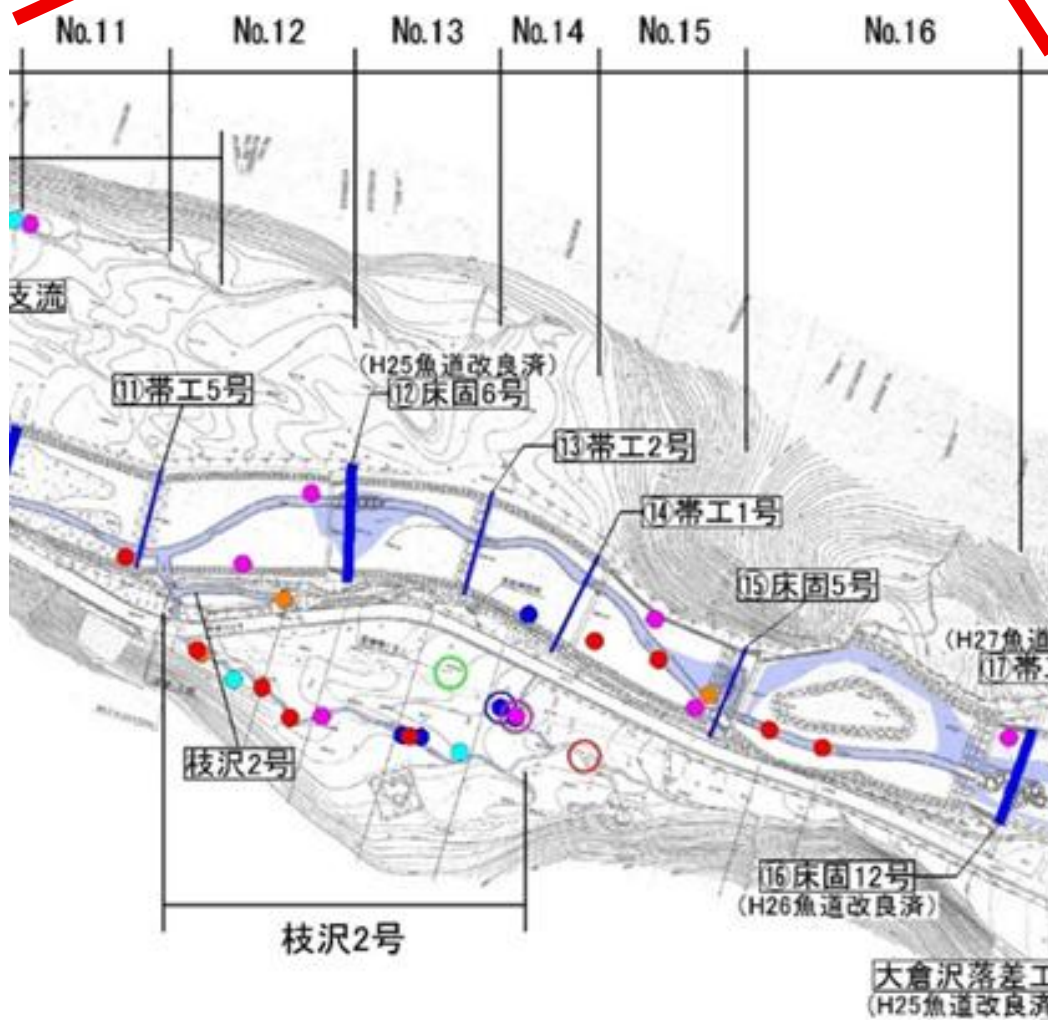
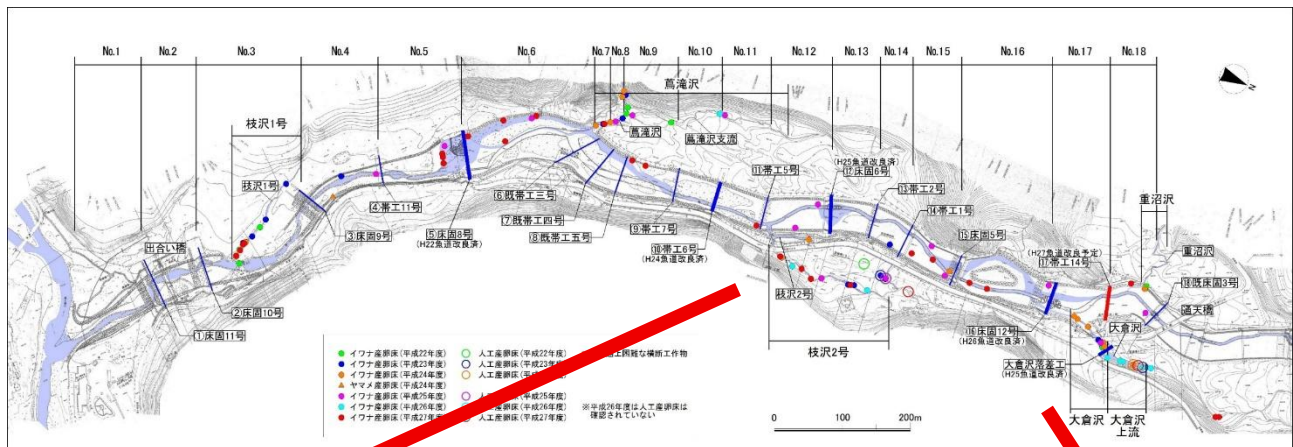


図2 (3) 産卵床の経年確認状況



# 産卵床の経年確認状況

(平成22年度～平成28年度)

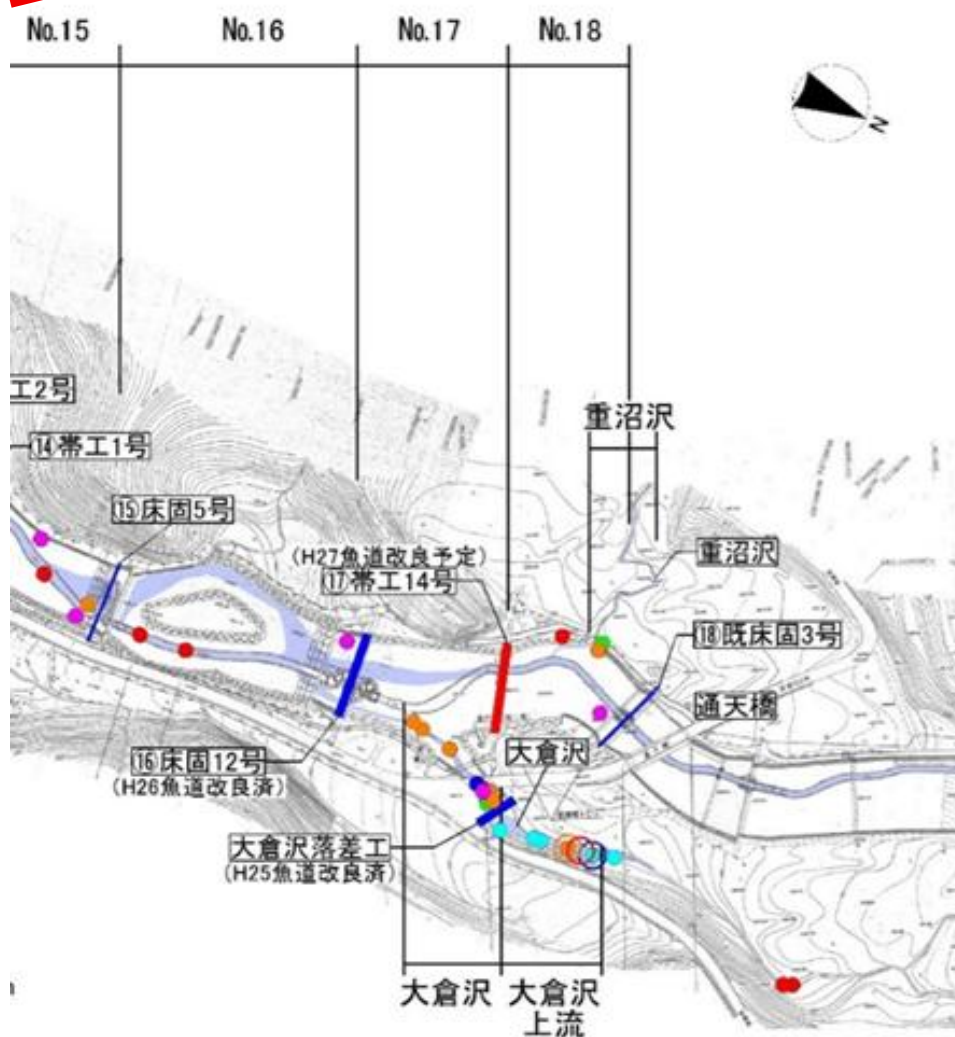
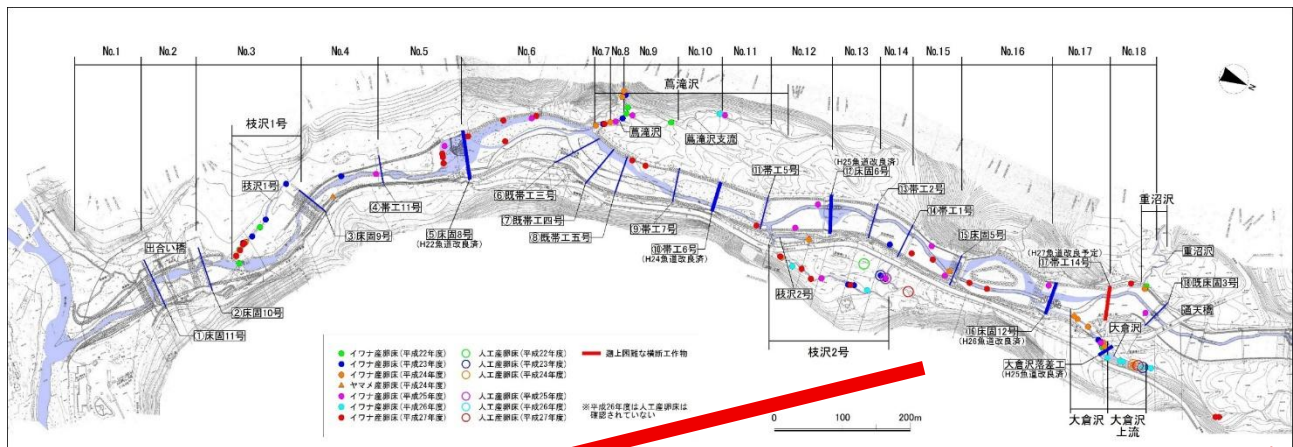


図2 (4) 産卵床の経年確認状況